

サポートブック改訂版

「にじいろのーと」を ご活用ください

発達支援の必要なお子さんが、切れ目ない支援を受けられるように、園や学校、サービス事業所などの各機関で、スムーズに情報を引き継ぐためのサポートブックを「にじいろのーと」として改訂しました。

これまでのお子さんの様子や支援を受けた内容などを記入したり、母子手帳やお薬手帳、通知表なども一緒に入れたりしておけるリング形式のファイルとなっています。



「にじいろのーと」ってなに？

支援の必要なお子さんが、初めて接する人(先生や支援員)に特性や接し方を知ってもらうための情報を書いておくノートです。

各機関の相談や支援を受ける時、福祉や医療サービスを受ける時、就学時や進学時、就労への引継ぎ時など、学校や相談支援にあたる関係者に「にじいろのーと」を提示することで、これまでの支援の経過など必要な情報を共有することができます。

「にじいろのーと」を活用し、お子さんの情報を関係者間で共有することで、お子さんや保護者へのより良い支援につながることを期待できます。



どんなメリットがあるの？

- 園や学校、関係機関が変わるたびに、同じことを繰り返し伝える負担が少なくなります。
- これまでの育ちの様子や支援内容などを整理して分かりやすく伝えることができます。
- 必要なシートだけを、家族や子どもを支援する人たちにコピーして提出することもできます。
- 子どもの育ちの様子やこれまでのできごとを確認することや、振り返ることができる記録ファイルとなります。

使い方は？

すべてを書く必要はありません。伝えたいポイントから書いてください。シートの内容によっては、記入が難しい項目があるかもしれません。その時は、園や学校の先生、支援機関の人などに相談し、アドバイスを受けてください。

※追加したいシートがある場合は、市ホームページ(子ども支援室のページ)からダウンロードできます。



サポートブックを すでに使用している人の声

「にじいろのーと」をいつもきれいに整理しておくのは大変です。とりあえず穴を空けてはさんで置いて、気が向いた時や活用することがあれば、その時に整理したり並びかえたりするので十分です。

通知表や薬の記録など、とりあえずどんどんはさみ込んでいます。その時は具体的に何がどのように役に立つかは分かりませんでした。手帳の取得や福祉サービス利用の時、障害者年金の申請時など、残っていたものかと思わぬところで役に立つことができました。

役に立つから残そうと思っていたわけではないのですが、相談記録などを振り返ってみれば、子どもの成長がよくわかります。小さい時は子育てに悩むこともありましたが、今ではこれも思い出になっています。

自分がメモした相談の内容や発達検査の記録などをしてしています。これらの記録は学校に入学する時、事前の相談で子どもの特徴を理解してもらうのに役立ちました。先生方の配慮のおかげで、子どもは毎日楽しく学校に通っています。

申請書や申込書で何度も同じような項目を書くことがあります。「にじいろのーと」を見ながら記入すると時期などがわかりとても便利です。また、申請書などもコピーしてはさんでおくことと次回の記入がとても楽になります。

こんなページが あります

はじめに
・「にじいろのーと」の
使い方 HOW TO

基本編
・プロフィール
・発達経過のおぼえ
・手帳・手当の記録
・相談の記録
・検査の結果

医療編
・かかりつけ医療機関
・通院の記録
・医療情報のまとめ
・お薬の記録
・入院の記録

療育・学校・就労編
・療育の記録
・利用サービス
・個別の教育支援計画
・就労の記録

思い出のページ

～関係者の皆さんへ～

この「にじいろのーと」は、お子さんの教育、医療、福祉などの各関係機関の情報が盛り込まれています。保護者から、この「にじいろのーと」を提示された時は、保護者の了解を得た上で、お子さんのより良い支援につなげるため、関係機関の情報共有のツールとしてご利用ください。

また、「にじいろのーと」には、受けた支援を記録するページなどがあります。保護者が記入することになっていますが、相談の記録などを保護者から求められた時は、ご協力をお願いします。

今回のサポートブック改訂には、実際に今まで使用してきた保護者のご意見をお聞きしながら作成しました。ご協力いただき、ありがとうございました。



「にじいろのーと」の配布・問合せ先

健康福祉部子ども総合センター子ども支援室 (あいあい ☎83-2425)